

1. 件名：特定原子力施設監視・評価検討会（第99回）に係る面談（検討会后）

2. 日時：令和4年4月18日（月） 18時00分～18時15分

3. 場所：原子力規制庁18階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、澁谷企画調査官、正岡管理官補佐、横山係長、石井係長、塩唐松係員  
福島第一原子力規制事務所（テレビ会議システムによる出席）

小林所長

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクトマネジメント室 担当4名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

○原子力規制庁から、本日開催した第99回特定原子力施設監視・評価検討会（以下、「検討会」という。）における主な指摘事項の確認を行うとともに、現時点で検討している次回検討会の議題案について説明した。

○また、東京電力ホールディングス株式会社（以下、「東京電力」という）から、本日の検討会での井口委員からの質問への回答の訂正等について説明を受けた。

✓ 資料1-1のP32「大型機器除染設備のロボットアーム（B）の動作不能」について、ロボットアームの耐震クラスはいくつか。という質問に対して回答していなかったが、「当該ロボットアームは、放射性物質を扱う機器ではないことから一般産業品と同等としており、耐震設計は考慮していない」ということ。

✓ 資料2-1のP14「・・・船体や漁網・海浜砂等、選定した移行モデル・・・」の部分について移行係数は、IAEAの基準文書より引用した旨説明したが、正しくは、廃止措置工事環境影響評価ハンドブックから引用していること。

○東京電力から、主な指摘事項については検討の上、対応が必要なものについては、適切に対応する旨回答があった。また、次回検討会の議題候補について了解した旨回答があった。

6. 資料

➤ なし